

平成23年度派遣者募集

理学研究科の修士・博士・ポスドク・
助教を、2～12ヶ月欧州の大学に派遣する
プログラムです。
派遣先は欧州内全ての大学が含まれます。
詳細はお問い合わせ下さい！
ogihara@bio.sci.osaka-u.ac.jp

ITP

International Training Program
for Young Scientists

ITP, ICI ECP, 大航海プログラム

派遣説明会

平成23年5月11日 (水) 12時10～50分

17日 (火) 12時10～50分

理学部本館 B棟208

申請締切

5月25日 (水) 17:00 研究支援係 大川

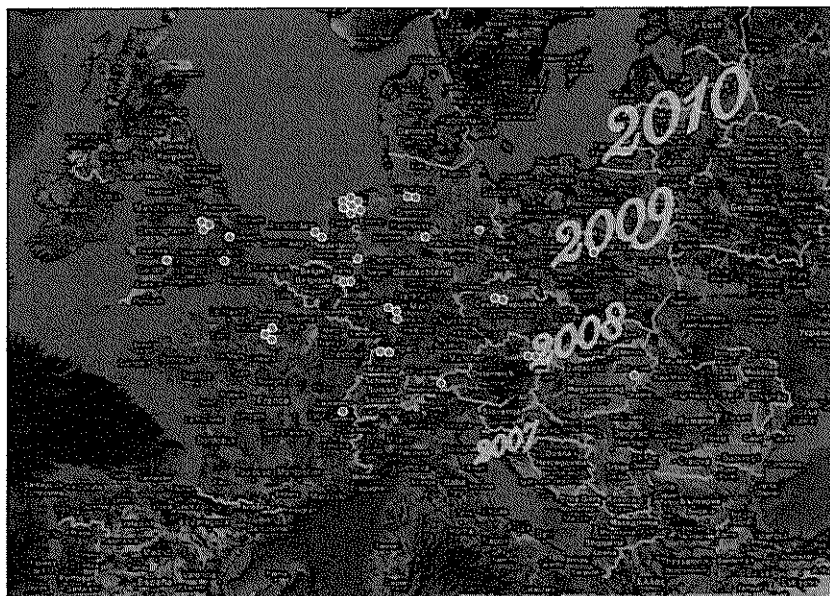
留学生・国際交流 中島

最終口頭審査 6月6日 (月) 17:00～

JSPS若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラムITP
「EUエラスムス・ムンドス計画との基礎科学教育研究国際化協力事業」

若手研究者育成という「教育事業」

- 理学研究科の研究力をバネとした、若手研究者育成という「教育事業」であり、それを通して研究力の更なる発展を企画するものです。



ITP-Dispatched 2007

Mr. Nitta → Mr. Ohira → Mr. Ozaki → Mr. H. Suzuki
 Mr. Morita → Mr. Nakagawa → Ms. Fujita → Mr. Fukuda
 Dr. Shimizu → Dr. Ohgaki

ITP-Dispatched 2008

Mr. Harashima → Ms. Yoshino → Mr. Matsubara → Mr. T. Suzuki
 Dr. Karasawa → Dr. Ohgaki → Ms. Hayashi → Dr. Narasaki
 Mr. Ozaki → Mr. Iwasaki

ITP-Dispatched 2009

Dr. Czuppon → Mr. Noguchi → Mr. Imai → Dr. S. Yamamoto
 Dr. Tani → Mr. Hirota → Mr. Meguro → Dr. Matsushita
 Dr. S. Yamamoto

ITP-Dispatched 2010

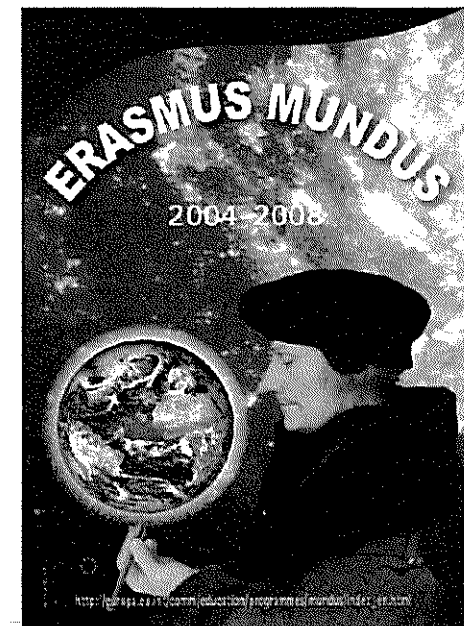
Mr. Nagata → Mr. A. Yamamoto → Mr. Shiraishi → Mr. Hagiwara
 Dr. Czuppon → Ms. Saito → Mr. Meguro → Mr. Tanida
 Mr. Meguro → Mr. Yamaguchi

ITP-Dispatched 2011

Mr. Yamagata

エラスムス・ムンドゥス

- ❧ 現在EUで実施されている大規模な大学間交流プログラム
- ❧ 高等教育機関の学生や教員の欧州域内でのモビリティ（移動性）を高める
- ❧ 他国で学んだり経験を積むことを支援する
- ❧ 修士、博士、ポスドク、研究者
- ❧ EU, non-EU (域外パートナー)



理学研究科ITPの目的

1. ヨーロッパの一流大学への若手研究者派遣

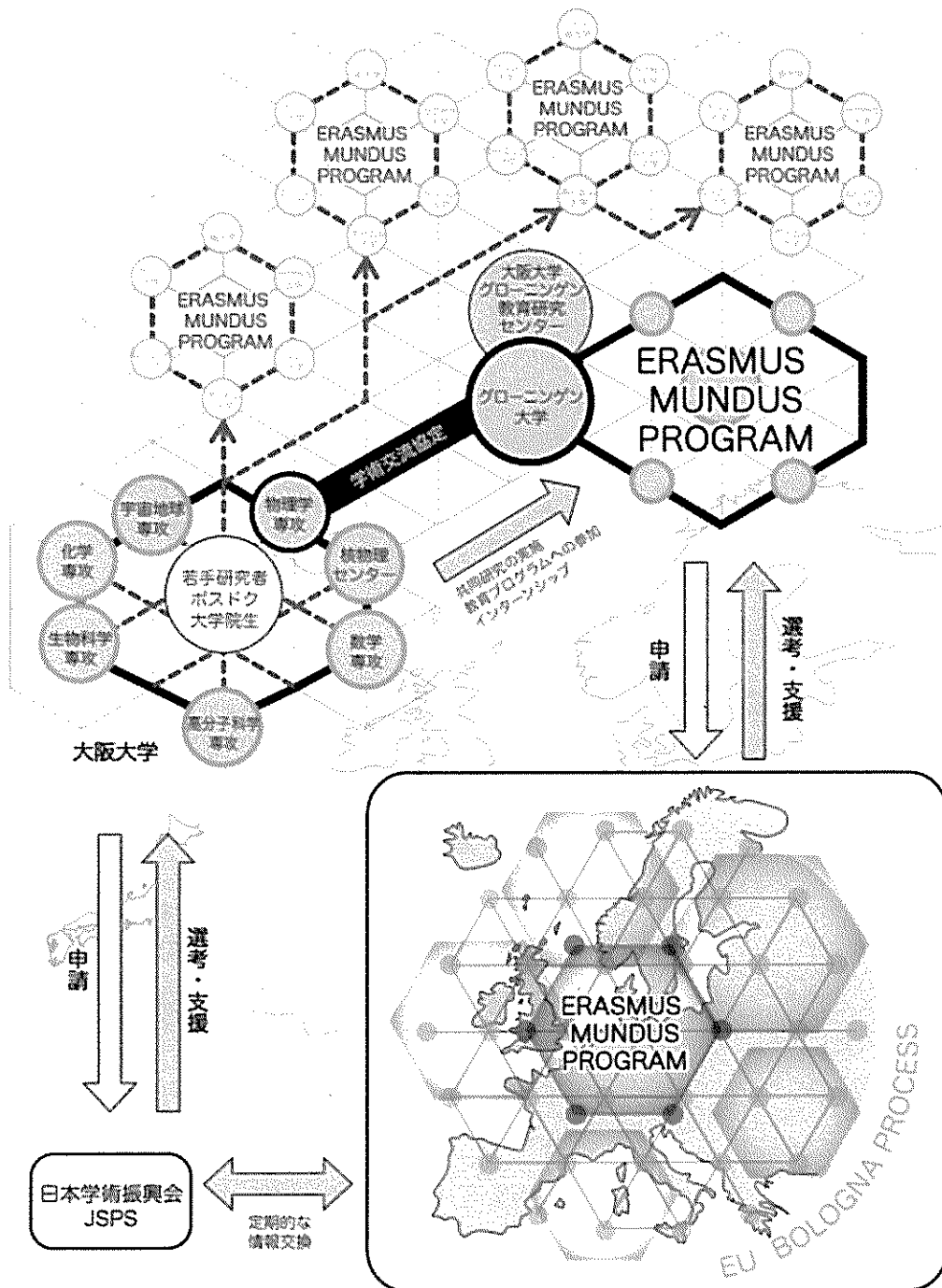
- ・✧ グローニンゲン大学をノードとして、ヨーロッパの大学に大阪大学大学院理学研究科の若手研究者、大学院学生を派遣する。独創性あふれた教育・研究にじかに接することで、若手研究者、大学院学生を日本には学べない国際的研究環境に曝す。またそのことで大阪大学理学研究科での教育、研究のさらなる高度化を推進する。

2. エラスムス・ムンドゥス域外パートナー

- ・✧ 計画年度内には物理学専攻、核物理センター、宇宙地球科学専攻、数学専攻、化学専攻、高分子科学専攻、生物科学専攻が優れたエラスムス・ムンドゥス・プログラムの域外パートナーとして参画することを目標とする。それによって理学研究科が総体としてエラスムス・ムンドゥス・プログラムに深く関わり、教育研究能力涵養のより国際的な実践を踏む。

3. 教育研究環境の国際化

- ・✧ エラスムス・ムンドゥス・プログラムの域外パートナーとしての役割（EUパートナー大学の学生を受け入れる）を果たすことで、理学研究科の教育研究環境の確実な国際化を図る。このことをもって大阪大学の教育研究レベルを国際的に知らしめることにつなげる。

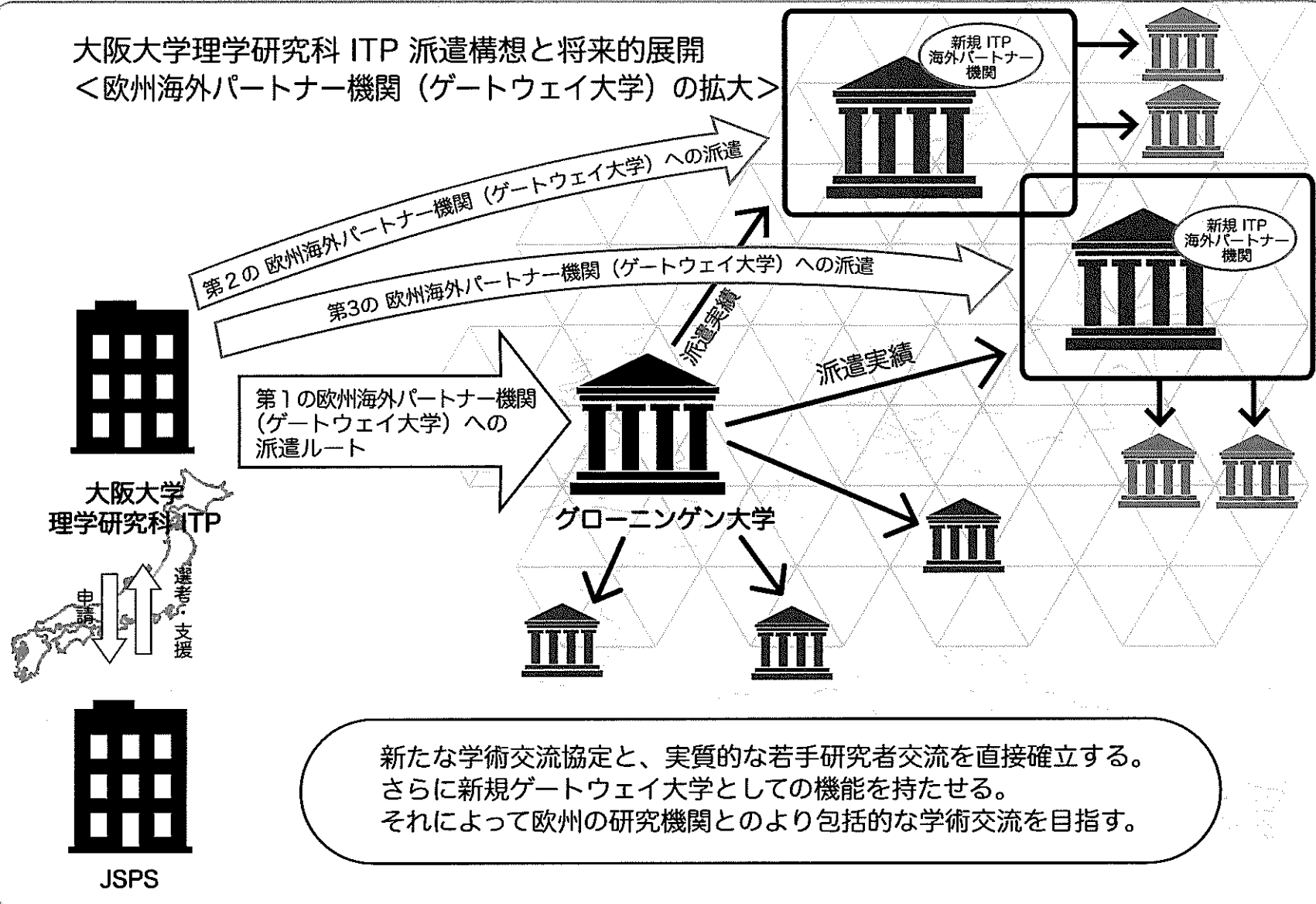


ITP

派遣構想

大航海 派遣構想

大阪大学理学研究科 ITP 派遣構想と将来的展開
 <欧州海外パートナー機関（ゲートウェイ大学）の拡大>



ITPの実施期間

- ❧ 平成19年11月1日より平成24年10月31日まで
- ❧ 正味5年間

大航海の実施期間

- ❧ 平成22年3月1日より平成24年2月29日まで
- ❧ 正味2年間
- ❧ 短期派遣も可能
- ❧ 夏期科学英語研修も実施

(今年度はセントメアリー)

ITP派遣資格

1. 助教、ポスドク、招へい研究員、博士課程前期・後期（社会人身分の者可）
2. 准教授、教授は若手研究者としての資格はありませんが、担当教員として参加することはできます。ただし、担当教員の役割は、研究ではなくあくまで運営面のサポートなのでその点ご注意ください。派遣期間は1週間以内。
3. 日本学術振興会の「特別研究員」「海外特別研究員」「外国人特別研究員」のいずれかに採用されている方はITPから経済支援は受けられません。
 - ・ ITPの枠組みに入って参加することは可能です。つまり今後、実績報告書を提出する際に、その人たちの名前を記す事が可能。
4. 日本に留学してきている留学生（国費、私費）は阪大に在籍しているものであれば基本的には参加資格があります。
5. 研究生の応募資格について、具体的にどのような身分の学生なのかによって資格があるかどうかが変わります。
 - ・ ただし、出来るだけ広い範囲の若手研究者を育てたいので、若手研究者の資格はかなり広く想定出来る。研究生については具体的な候補者が見つかったからJSPSと相談しながら決める。

大航海派遣資格

1. 42歳以下の講師、助教、ポスドク（学振特別研究員、招へい研究員含む）、学部学生、博士課程前期・後期
 - ・✧ 博士学位を修得または単位修得退学後、引き続き大学で研究を続けている者（学位取得者とは限らない）。
2. 日本に留学してきている留学生（国費、私費）は阪大に在籍しているものであれば基本的には参加資格があります。
3. 研究生の応募資格について、具体的にどのような身分の学生なのかによって資格があるかどうかが変わります。
 - ・✧ ただし、出来るだけ広い範囲の若手研究者を育てたいので、若手研究者の資格はかなり広く想定出来る。研究生については具体的な候補者が見つかったからJSPSと相談しながら決める。
 - ・✧ 短期派遣者については同年度内において2度目の申請は不可とする。

C O E ・ 科研などの他の研究支援 とITPの関係

- ❧ 科研で雇用している研究員は I T P で派遣可能である。ただし費目が重複してはならない。
- ❶ 派遣期間の延長（つまり1年以上）が目的で、他から支援を得たいというのが趣旨であるのならば、学振担当者に連絡して派遣期間の延長の議論は可能。

派遣先の条件

ITP

- ☪ EU内
- ☪ Bologna Processに同意している国
- ☪ Erasmus Mundusプログラムに参加している、或いは参加予定の大学
 - ☪ http://jpn.cec.eu.int/relation/showpage_jp_relations.academic.erasmus.php
 - ☪ http://ec.europa.eu/education/programmes/mundus/index_en.html

大航海プログラム

- ☪ ヨーロッパ各国、北米、アジア諸国内の大学など

派遣日程

ITP

- ❧ 派遣期間：2ヶ月～1年（期間は厳守）複数回可
- ❧ 一時帰国について、学会などの正当な理由による一時帰国は可能です。ただし、これも理由によってケースバイケースということですが、例えば、2ヶ月の派遣期間の方が、1ヶ月で一時帰国という形は認められにくい。
- ❧ 年度を越える事OK。年度の終わりに帰国する必要なし。

大航海プログラム

- ❧ 派遣期間：数日～1年未満
- ❧ 年度を越える事OK。年度の終わりに帰国する必要なし。

派遣費用 ITP

・全額支給します（渡航費含む）。

・部分支給の可能性

1. 減額；派遣先の家賃等に応じて実費を支給する。

☞ 例1：ロンドン・パリの場合

月額24万7千円（日額8,200円＝日当＋宿泊料）

☞ 例2：ドイツ・オランダ・イギリス（ロンドン以外）の場合

月額19万5千円（日額6,500円＝日当＋宿泊料）

☞ 例3：ポーランド等東欧諸国の場合

月額16万5千円（日額5,500円＝日当＋宿泊料）

2. 派遣先の部分的サポート

☞ EUやホスト大学から一部経費負担を受けることは問題ない。

☞ 派遣先による全面的サポートに切り替える（EU資金、ホスト大学資金）

3. 博士課程卒業後、ポスドクのStarting salaryとして最適

派遣費用 大航海プログラム

・✿ 渡航費用および滞在費（一部）を支給。

支給に関しては、個別にお問い合わせ願います。

（旅費規程改定に伴い変更の場合があるため）

ITP 平成19～22年度派遣実績

❧ 若手研究者 延べ38名(H19～22年度)

❧ 更に募集中

❧ 年度をまたがったの派遣もOK

❧ ITP HPの現地レポート参照

http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ITP/ITP2007/Voice_of_ITP.html

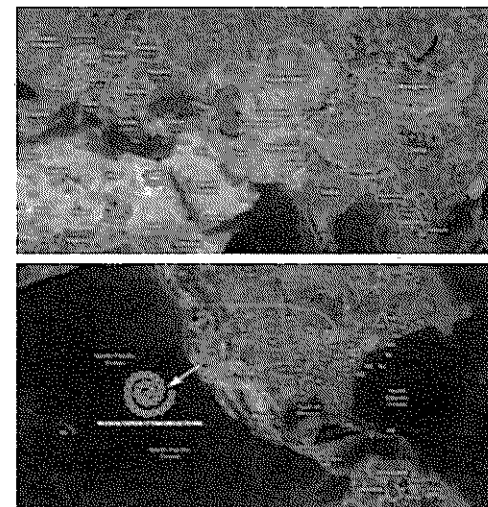
❧ 2ヶ月×全額支給

❧ ただし期間（一ヶ月以内以上）、部分支給の可能性、派遣先の部分的サポートを含む申請全体を見て派遣人数を決定する。



大航海プログラム 平成21~22年度派遣実績

- ❧ 数学専攻 5名 (長期1名 短期4名)
- ❧ 物理学専攻 13名 (長期1名 短期12名)
- ❧ 化学専攻 26名 (長期5名 短期21名)
- ❧ 生物科学専攻 25名 (長期2名 短期23名)
- ❧ 高分子専攻 6名 (長期1名 短期5名)
- ❧ 宇宙地球科学専攻 21名 (長期3名 短期18名)
- ❧ サマースクール 28名



延べ124名が派遣

申請受付と締め切り

❧ 随時

❧ 申請書提出先 研究支援係 大川係長（理学部本館B101）
留学生・国際交流担当 中島（理学部本館A113）

❧ 締め切り；5月25日（水）17時

❧ ただし学科によって締め切りを設けている場合も有りますので、各学科長に問い合わせ下さい。

❧ 今冬以降の派遣申請はこの締め切りと関係なく随時受け付けます。

（大航海プログラム利用の長期派遣申請の場合は、6・11・2月の面接に合わせて問い合わせ願います）

選考方法

グローニンゲン大学審査員
大阪大学グローニンゲン
教育研究センター審査員
Top Screening Committee

TV-Conference System
双方向遠隔会議

最終口頭審査
Top Screening Committee
Oral Interview

ITP研究科選考委員会
Primary Screening Committee

数学専攻

数学科
ITP学科推薦委員会

物理学専攻

核物理センター 宇宙地球専攻

物理学科
ITP学科推薦委員会

化学専攻

高分子科学専攻

化学科
ITP学科推薦委員会

生物科学専攻

生物科学科
ITP学科推薦委員会

ITP申請書

- ❧ 本日サンプルを準備しました。
- ❧ デジタルファイルのダウンロード先
<http://www.bio.sci.osaka-u.ac.jp/temp/itp.html>
- ❧ ITPホームページ
<http://www.sci.osaka-u.ac.jp/ITP/ITP2007/Welcome.html>
- ❧ お問い合わせ先

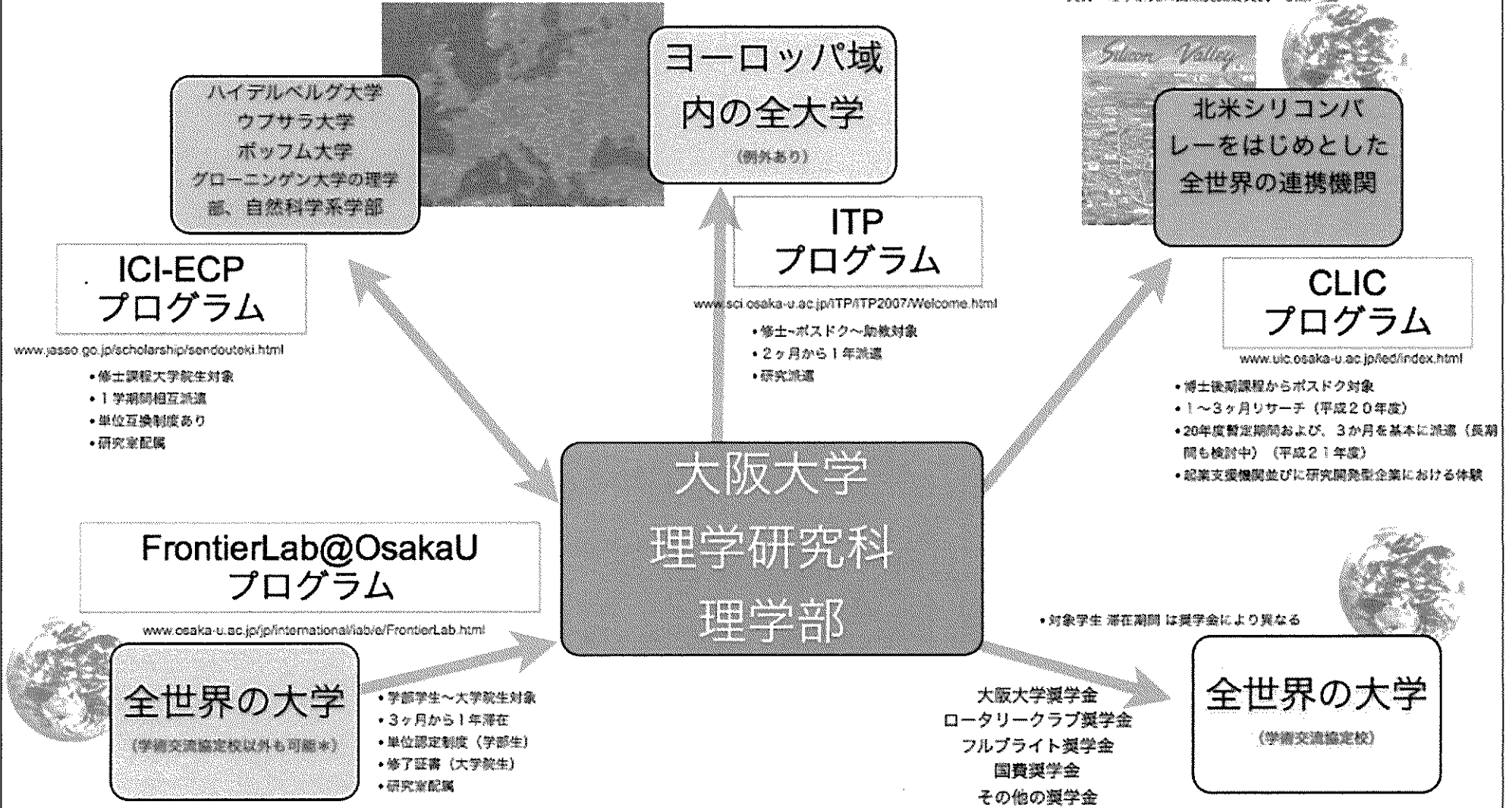
荻原 哲 理学部本館A218 (5811)
ogihara@bio.sci.osaka-u.ac.jp

大川 敦子 研究支援係長 理学部本館B101 (2386)
ookawa-a@office.osaka-u.ac.jp

中島 真由子 留学生交際交流担当 理学部本館A113 (2391)
nakashima-ma@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学理学研究科
 学生海外派遣/留学生受入 (短期) プログラムのすべて (H20, 12/20現在)

文責・理学研究科国際交流委員長・萩原 恒



ICI-ECP 先導的留学生交流プログラム支援制度

ICI-ECP 先導的留学生交流プログラム支援制度
Industrialized Countries Instrument Education Cooperation Program

Eu-J AMP : Europe-Japan Advanced Master Program

Student Mobility 学生の日欧相互交流推進

One semester abroad 1学期間 海外留学

No delay in graduation 卒業延期無し

Credit transfer EU-日本間 単位互換

大阪大学理学研究科から

ハイデルベルグ大学

ウプサラ大学

ポッフム大学

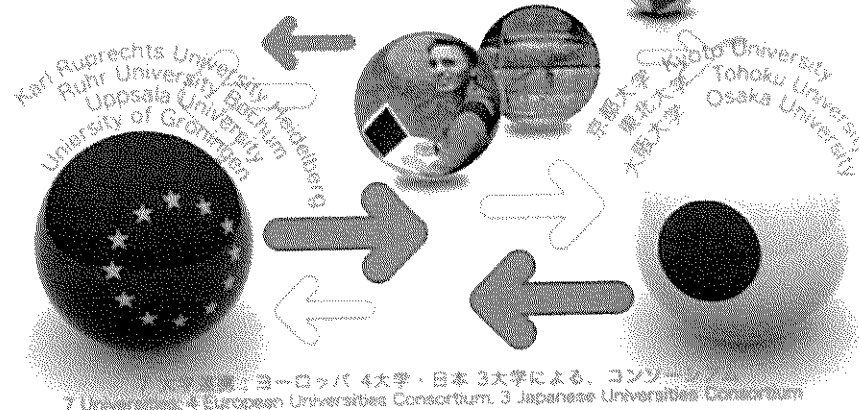
グローニンゲン大学

の理学部、自然科学系学部への留学制度

- 修士課程大学院生対象
- 1学期間派遣
- 単位互換制度あり
- 欧州側大学での研究室配属
- 卒業延期無し
- 留学費用全額支援

2009年度派遣開始

問合せ先： 萩原教授（生物科学専攻）大学院係



www.jasso.go.jp/scholarship/sendouteki.html